

米国ワシントン州シアトル市旧日本人街における歴史的景観の保全・活用実態

柳川 星¹・阿部 貴弘²

¹学生会員 学士(工学) 日本大学大学院理工学研究科まちづくり工学専攻(〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14, E-mail:csak17008@g.nihon-u.ac.jp)

²正会員 工博 日本大学理工学部まちづくり工学科(〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14, E-mail:abe.takahiro@nihon-u.ac.jp)

本研究は、米国ワシントン州シアトル市の旧日本人街を対象地として、まず、明治期にさかのぼる日系人コミュニティの成立から現在までの変容過程を把握・整理する。そのうえで、コミュニティの生活の表れとしての景観に着目し、日系人コミュニティにより旧日本人街の景観がどのように特徴づけられ、さらにそうした特徴が、現在の旧日本人街において歴史的景観としていかに保全・活用されているのか、その実態を把握し、歴史的景観の保全・活用の意義を考察する。

キーワード:旧日本人街, エスニック・コミュニティ, 歴史的景観, シアトル, 日系人コミュニティ

1. はじめに

(1) 背景・目的

近年、我が国においては「明日の日本を支える観光ビジョン(平成28年3月30日)」が策定されるなど、観光施策の気運が高まりを見せている。こうした中で横浜の元町中華街や神戸市の南京町などといったエスニック・コミュニティが集住する地区は、観光地としてのポテンシャルを持ち注目を集めている。一方、エスニック・コミュニティが集住する地区では、ジェントリフィケーション¹⁾や、過剰装飾といった文化の誤訳²⁾がしばしば見受けられ、その要因の一つとして、集住地区から集客地区への地区の性格の変化に伴いエスニック・コミュニティ自体が変容している可能性があると考えられる。なお、エスニック・コミュニティについては地理学等の分野で一般的に用いられている用語であるが、本稿では「相互扶助に基づく、共通の言語・文化の人々のコミュニティ」と定義する。

ここでサンフランシスコのチャイナタウンやロサンゼルスのリトルトーキョーなどといった米国のエスニック・コミュニティが集住する地区に目を向けると、多民族が同居し都市を魅力付けており、持続可能なコミュニティ形成に資する様々な施策³⁾が講じられている。

そこで本研究では、エスニック・コミュニティの変容と景観の関係性に着目して、景観がどのように特徴づけられ、また変容し、さらにそうした景観の特徴が現在においていかに保全・活用されているか、その実態を把

握するとともに、歴史的景観の保全・活用の意義を考察することを目的とする。研究対象については、エスニック・コミュニティの集住が都市を魅力付けており、かつ文化をより深く理解するという観点を考慮し、米国ワシントン州シアトル市旧日本人街の日系人コミュニティとした。

本研究を進めるにあたり、まず、集住地区から集客地区への地区の性格の変化に伴い日系人コミュニティがどのように変容するのかその過程をとらえた。さらに、歴史的景観の保全・活用に係る支援制度を整理するとともに、日系人コミュニティ形成当初と現在の景観がそれぞれどのような特徴を持っているかを整理した。

関連する研究としてまず、歴史地理学の杉浦直は、ビジネスの動向を通して戦前からのエスニック・コミュニティの変容過程について⁴⁾言及し、さらに日系宗教団体⁵⁾や近年におけるInternational District(以下「ID」)の日系ビジネスの動向について⁶⁾明らかにしている。また、建築学のGail Dubrowは歴史的建築物の保護の観点から日本町の歴史的建築物に対して利用方法と建築的特徴から建築物の重要性を明らかにしている⁷⁾。さらに、現在のIDの多様なエスニック・コミュニティ同士の関わり合いについて建築環境学からArisa NakamuraはIDの公共安全向上のための、多種の民族の住み分けの実態を明らかにしている⁸⁾。

このように様々な分野から研究が行われているものの、エスニック・コミュニティの組織に着目して、日本人街が形成されたことによって戦前戦後を通して景観がどの

ように特徴づけられてきたのかについては言及されていない。

(2)対象地

米国ワシントン州シアトル市には、1880年頃から多くの日本人が移民して日本人街が形成されて賑いをみせた。第二次世界大戦が開戦すると、1942年2月の大統領令9066号により、日本人及び日系アメリカ人(以下「日系人」)は強制立ち退き・強制収容を強いられ日本人街は消失してしまう。しかし、終戦後、かつての日本人街へ一部の日系人が戻り、この地区は現在、日本以外のアジア系移民も居住するInternational District (図-1) という、エスニック・コミュニティの存在が都市を魅力付ける国際色豊かな観光地区になっている。



図-1 対象地 米国ワシントン州シアトル市 International District

b)旧日本人街の歴史的景観の保全・活用の実態

日系人コミュニティにより旧日本人街の景観がどのように特徴づけられ、そうした特徴が、現在の旧日本人街において歴史的景観としていかに保全・活用されているのかについて整理し、日系人コミュニティの変化及び歴史的景観の保全・活用の支援制度とどのように関連しているのか分析した。

特に、かつての日本人街の景観の特徴は、文献および古写真を用いて分析を行った。また、現在の景観の特徴については、行政施策と住民の活動の両面から分析を行った。

表-1 文献リスト

タイトル	発行者/機関名	発行年(刊行期間)
日本人	日本人会	1901.2.16~1902.1.11.
新大北日報	大北日報社	1910.1.1~1942.2.
北米時報 (現在:北米報知)	北米時事社 (現在:北米報知出版社)	1902~1941.1946~
Soy Source	北米報知出版社	2008.06.25~2018.08.24
北米年鑑	北米時事社	1910/1911/1912/1913/1919
日米関係在米日本人発展史	藤原与一	1927
北米日本史	伊藤一男	1969
アメリカ春秋八十号	伊藤一男	1982
日系移民人名辞典 北米編(全3巻)	日本図書センター	1993
大 米国西北部日本移民史	竹内幸次郎他	1994
日本人アメリカ移民史	坂口満宏	2001
Sento at Sixth and Main: Preserving Landmarks of Japanese American Heritage	Gail Dubrow	2004
Omoido IV, V, Revisited	Nikkei Heritage Association of Whashington	2005/2011/2011
初瀬在米日本人の記録北米編第96冊	長泉栄三郎	2007
HUNT HOTEL	Japanese Culture & Community Center of Whashington	2016
Historic Structures Report PANAMA HOTEL	Historic Seattle	2014
Landmarks Preservation Board (Seattle Buddhist Church 1427 S. Main St.)		1976
National Register Inventory Nomination Form, "Nippon Kan"		1978
National Register Inventory Nomination Form, "Seattle Chinatown Historic District"		1986
National Register Inventory Nomination Form, "Kokugo Gakko or Seattle Japanese Language School"		1982
Landmarks Preservation Board (Seattle Japanese Language School 1414 S.Weller St.)		2006
National Register Inventory Nomination Form, "The Panama Hotel"		2006
Library of congress	アメリカ議会図書館	-
DENSHO	日系人の歴史ポータル	-
Japanese American National Museum	全米日系人博物館	-
Japanese Culture & Community Center	Japanese Culture & Community Center	-

表-2 ヒアリング調査及び現地調査実施日

期間	2017年6月7日~10日, 2018年8月19日~9月1日
----	--------------------------------

表-3 ヒアリング先リスト

1 Japanese Cultural Community Center of Washington	9 Kaname Izakaya and Bar
2 日系人会	10 Tsukushinbo
3 日本語学校	11 Fuji Sushi
4 Nikkei Heritage Association of Washington	12 Fort St. George
5 北米報知社	13 Kobo at Higo Gallery
6 Wing Luke Museum	14 Uwajimaya
7 Panama Hotel	15 Seattle Choeizan Enkyoji
8 Maneki Restaurant	16 Seattle buddhist Temple

2. 研究方法

(1)調査方法

文献調査(表-1)とヒアリング調査及び現地調査(表-2, 3)を行い、日系人コミュニティを日系組織及びその活動内容の変容を調査し、さらに、歴史的景観の保全・活用に関わる支援制度を整理した。また、景観について日本文化や日系人に基づく特徴を抽出した。

(2)分析方法

a)日系人コミュニティの変容過程

日系人組織の活動内容と組織間の関係を年代ごとに変遷をまとめることで、明治期にさかのぼる日系人コミュニティの成立から現在までの変容過程を把握・整理した。

3. 結果及び考察

(1)日系人コミュニティの変容過程

表-4に日系組織を活動内容からそれぞれ「文化・運動関連組織」、「宗教関連組織」、「教育関連組織」、「県人会」、「職業関連組織」、「自治関連組織」の6つに分類し日系人コミュニティの変容を整理した。なお、日系組織間の関係の変化から5期に区切って各組織の活動時期を黒塗りで示している。1期から5期の各コミュニティの特徴をa)からe)に示す、表-5は、各活動時期の時代背景をまとめたものである。

表-4 日系組織の変容

活動内容	団体名	設立年	活動時期				
			1	2	3	4	5
			~1906年	1907年~1942年	1943年~1970年代	1971年代~1990年代	1991年代~
自治関連	日本人会	1899					
	シアトル懇話会	1901					
	甲辰会(弁論倶楽部)	1903					
	西北部帰化権獲得同志会	~1949					
	Japanese Community Service of Seattle(シアトル日系人会)	1949					
	Nikkei Heritage Association of Washington (NHAW)	2002					
	オーナー会	20--					
	日系ネットワーク	20--					
	日本人基督教青年会(後の浸禮教会)	1891					
	仏教青年会	1901					
宗教関連	シアトル別院(Seattle Buddhist Temple)	1901					
	美以派婦人ホーム	1903					
	美以教会	1904					
	日本基督教	1905					
	日本婦人矯風会シアトル支部	1905					
	シアトル人道教	1906					
	組合教会	1907					
	聖公会	1908					
	Seattle Nichiren Buddhist Church	1929					
	丸山教会	~1949					
	金光教会	~1949					
	セブンスデーアドベントイスト教会	~1949					
	ペンテコステ教会	~1949					
	ホーリーネス教会	~1949					
	加特力教会	~1949					
	日本人長老教会	~1949					
	Seattle Koyasan Buddhist Temple	1953					
	教育	国語学校	1902				
	北米英語学校	1911					
	職業関連	華州農事会	1907				
理髪業組合		1907					
実業倶楽部		1907					
洗濯業者組合		1907					
華州職工同盟会		1907					
日本料理人陸会		1907					
日本人商業組合		1911					
洋服業組合		1911					
旅館業組合		1911					
日本大工組合		1912					
日米貿易協会		1912					
洋食店組合		~1919					
グロッサリー組合		~1919					
家畜業組合		~1919					
日本人労働組合		~1919					
日本人茶業組合	~1919						
シアトル日本人ホテルアパートメント組合	~1949						
Friends of Japantown	2017頃						
県人会	備作協和会	1897					
	広島県人会	1901					
	徳島県人会	1902					
	山口県人会	1903					
	愛媛県人会	1904					
	神奈川県人会	1905					
	福岡県慈善会	1905					
	相生郷会	1906					
	大阪県人会	1906					
	鳥取県人会	1906					
	静岡県人会	1906					
	東北県人会	1906					
	紀伊共済会	1907					
	宮崎県人会	1907					
	熊本県人会	1907					
	東京倶楽部	1907					
	長野県人会	1907					
	新潟県人会	1907					
	鹿児島県人会	1907					
	富山県人会	1907					
	奈良県人会	1907					
	愛知県人会	1908					
	香川県人会	1908					
	豊前県人会	1908					
	山梨県人会	1911					
	滋賀県人会	~1910					
	岡山県人会	~1915					
	和歌山県人会	~1919					
	シアトル岡山クラブ	1955-6					
	ワシントン州沖繩クラブ	1980					
北海道会	2000						
シアトル千葉県人会	2012						
ワシントン州京都人	2012						
神戸会	2014						

活動内容	団体名	設立年	活動時期				
			1	2	3	4	5
			~1906年	1907年~1942年	1943年~1970年代	1971年代~1990年代	1991年代~
文化・運動関連	シアトル市誠友会	1903					
	日東倶楽部	1905					
	沙香会	1906					
	文学会	1910					
	学生倶楽部	1912					
	常野倶楽部	1913					
	華陽会	1925					
	北米川柳互進会	1929					
	レニア吟社	1934					
	紫の会	1939					
	シアトル琵琶会	~1912					
	ミカド倶楽部	~1915					
	大学生倶楽部	~1919					
	三田会	~1919					
	早稲田校友会	~1919					
	岡山商業同窓会	~1919					
	糖高倶楽部	~1919					
	朝日野球倶楽部	~1919					
	松葉会	~1919					
	日本ゴルフ・クラブ	~1936					
	日本人ゴルフ協会	~1936					
	日本人スポーツメンズ・クラブ	~1936					
	日本テニス・クラブ	~1936					
	シアトル演劇会	~1940					
	自由劇団	~1940					
	東団	~1940					
	二葉会	~1940					
	大教倶楽部	20--					
	ヨガ倶楽部	20--					

表-5 概略年表

期	期間	年	事柄
1	~1906年	1880年代前半	中国人労働者の代わりとして日本人の移民が始まる。
		1880年代後半	日本人移民人口が増える。当時は花街だった。
		1890年代	鉄道や港が整備されシアトルの町は発展する。
		1905年	ボーツマス条約締結 排日運動の活発化。
2	1907年~1942年	1908年	日米紳士協定締結
		1914年	第一次世界大戦
3	1941年~1945年	第二次世界大戦	日系人強制収容
4	1970年代~1990年代	1960年代	歴史的景観保全の運動の高まり
		1970年代	マイノリティの文化探劇に注目が集まる。
		1973年	DがSeattle市よりHistoric Districtに指定される。
		1976年	ジェラルド・R・フォード大統領が強制収容の過ちを認める。
5	1980年代~	1986年	DがWashington Heritage Registerに登録される。
		1994年	Chinatown National Historic Preservation Area (CNHNA)設置

a) 第1期 団体設立期 (~1907年)

社交機関として組織された宗教団体と県人会が中心になってそれぞれの会員に対して米国での住まい方の教示や働き口の斡旋といった活動が行われた。また、複数の弁論会が組織され、日系人社会や日本の政治のことについてなど、様々なテーマを取り上げて弁論大会が頻繁に開催された。

b) 第2期 統括組織設立期 (1907年~1942年 強制収容)

移民の増加とともに、県人会の数は増え、また日本人が経営する日本料理店や理髪店、宿屋等も増えていった。こうした背景を要因に、1899年頃全体の社交機関として同胞の相互扶助と在留民の福利の擁護を目的に組織された日本人会が、1907年にワシントン州日本人会に改名して個人会員制を廃止し、県人会及び職業ごとに結成した組合の代表者によって組織されるようになる。この日本人会は、日系人を取り巻く社会情勢の変化に伴い、「慈恵」、「教育」、「産業」、「労働」等に関する同胞の権利の擁護に加え、「日米両国の親善を図ること」に尽

力した。

宗教団体においても仏教・キリスト教共にその数は増え、教会同盟会という統括団体が組織された。この教会同盟会と、当初日本人会の機関として1902年に開校し1907年に日本人会から独立した日系人2・3世に対して日本の礼節を伝承する国語学校が、日本人会の活動をともに補佐した。

c) 第3期 コミュニティの再建期（1945年 終戦～1970年代）

第二次世界大戦後（以下「戦後」）、収容所から戻った日系人の生活再建支援は宗教団体を中心になって行い、日系人の支援や帰化権獲得運動、戦死者慰霊に取り組んだ。これらの運動の妨げにならないよう、これらの運動の終了を待って日系人中央団体が奉仕団体の日系人会を設立し、日系人の福利増進と社会改善を目的に活動して、日本語学校（旧国語学校）の再開も行った。

d) 第4期 求心力低下期（1970年代～1990年代）

戦前と同様な商店等ができるが、一方で日系人の世代が変わりさらに戦後の移民も加わったことで、日本人・日系人の中でも志向が多様化し、日系のコミュニティに対する重要性の認識が低下した。

e) 第5期 ルーツ探究期（1990年代～現在）

1990年代にSeattleでは再開発の動きが高まる。戦後、かつての日本人街のあたりには、戦前にも存在した中国系・フィリピン系に加えてベトナム系や東アフリカ系の人々も集住するIDになり、1994年、Business Improvement Area（エリア名称：Chinatown-International District Business Improvement Area（以下「CIDBIA」））に指定された。また日系人においては、戦前に移民した1世とその子供の二世の高齢化や、戦前の日本人街を知る人々の減少、さらに戦後に開店した個人商店の跡継ぎの不在による閉店などが問題視されるようになった。こうした市街地の再編とコミュニティメンバーの変化に伴い、日系人の体験を記録するOmoide Projectや日系人の歴史資料をアーカイブするDENSHOといった日系人文化を保全・記録・発信するための活動が活発化し始める。第4期中には日系人内での合意形成が成立しなかった日系人のコミュニティセンターの設置計画も、2003年に実現した。

こうした活動は、行政レベルから有志レベルまで複数存在しており、日系以外のアメリカ人や一時的な米国滞在の日本人も活動に関与している。一方で、歴史を保全・記録する取り組み内容については重複がみられ、全体をコーディネートするステークホルダーが不在であることが確認できた。

(3) 旧日本人街の歴史的景観の保全・活用の実態

日本人街における、戦前の景観の特徴と、現在の景観

の特徴及び歴史的景観の保全実態を整理した。

a) 第二次世界大戦前の日本人街の景観の特徴

戦前の日本人街の景観について、まず建築物の外観において特徴的なつくりが確認できたものは宗教関連の建築物（写真-1）のみだった。また、看板について当初は日本語表記のものが設置（写真-2）されていた。しかし、排日運動の活発化に伴い北米日本人会（当初名称：日本人会）が呼びかけ1919年から取り組んだ米化運動の一環として取り外すことになった。



写真-1 1920年代のBuddhist Temple



写真-2 日本語看板

このように景観における特徴がわずかだった一方で、当地区は日本人街として認識されていた。その理由は、「その頃のメイン街やジャクソン街は日本人ばかりで、料理屋や日本風呂など大繁盛していた。日本館などは、踊りだの芝居など。早川雪洲、上山草人らのハリウッドで活躍した映画スターのほか三浦環、関屋敏子、藤原義江らのオペラ歌手もやってきた。そのほか、いわゆるローカル・タレントと呼ばれるドサ廻りの浪曲などがかかって、ここにいると遠く太平洋を隔てて異国の地に住んでいることを忘れさせるのだった。」⁹⁾等といった体験談から、当時の日本人街では日本人が行きかっており、日本食や日本風呂屋といった日本式のサービスを提供したり日系人向けの品を扱ったりする商店の集積があって、さらに日本の商品や日系人コミュニティで行われた活動

に関連したものがショーウィンドーに飾られ（写真-3）、そして日系人の活動が活発に行われていたことからうかがえる。このことは、料理屋組合や商店組合、歌舞伎を行う演劇団体の存在からもうかがうことができる。また、特に、Washington st., Main st., Jackson st. に日系商店が集積し、Main st. と5th st. の交差点には盆踊りのやぐらが組まれるなど、このあたりが日本人街の中心部だった。



写真-3 ショーウィンドー

b) 現在の旧日本人街の景観の特徴

現在の歴史的景観の保護状況については歴史的建築物等の保護の活動を行っていないながらも、第二次世界大戦前とは様子が異なる。

b)-1 行政施策からみた景観の特徴

特に歴史的価値があると認められる建築物については、行政からも歴史的場所や建築物の保全に取り組んでいる。旧日本人街の歴史的景観の保全・活用に係る行政施策を表-6に示す。

表-6 歴史的景観の保全・活用に係る行政施策

	エリア	個別物件	その他
国	National Register of Historic Place	National Historic Landmark	—
州	Washington Heritage Register		—
シアトル市	Historic District	Historic Landmark	Business Improvement Area

b)-1-1 国による行政施策

National Register of Historic PlaceおよびNational Historic Landmarkは1966年に制定されたThe National Historic Preservation Act 1966を基にNational Park Serviceが管轄する施策である。この施策は、アメリカの歴史的遺産と考古学的資源に対する指定、評価、保護に係る公私の取り組みの支援を行うものであるが、登録は名誉に限り物件に対する歴史的・文化的価値への関心を高めるもので国からの支援等は定められていない。一方、登録された物件は補助金等の支援が受けやすくなる。登録に係る業務は各州に設置されたState Historic Preservation Office (SHPO)が行う。なお、ワシントン州において、これに登録するものはワシントン州のWashington Heritage Registerに同様に登録される。

当地区は1986年に「Seattle Chinatown Historic District」という名称でNational Register of Historic Placeに登録されている。また、当地区の旧日本人街に所縁のあるものとして、日本館 (Nippon Kan)、国語学校 (Nihon Go Gakko)、Panama HotelがNational Historic Landmarkに登録されている。

日本館（写真-4）は1909年に日系人の寄付金によって建設され、1978年にこのリストに登録された。戦前は劇場を備えたホテルとして、歌舞伎やオペラ、演説会などが開かれ日系人で大変にぎわう場所だった。戦後は1981年に修復が完了するが、2005年に売却されて以降オフィススペースとしての利用のみとなり現在の保全活用の実態については建築物の外観を維持するにとどまっている。これは、不動産の所有権が日系人やそれに理解のある人の手に渡らなかったことが要因であると考えられる。しかし、かつての日本館は、当時の日系人の苦悩の多い生活の中で代表的な憩いの場であり、日系人固有の文化活動による活気であふれていた場所としてその歴史的価値は高い。一方で、そうした当地区の日本人街の歴史を伝えるべく、2018年には、Wing Luke MuseumとNational Park Service Klondike Gold Rush National Historical Park, National Park Service Rivers, Trails and Conservation Assistance Programが主催となって、日本人街の歴史をめぐるまち歩きマップを作成するとともにまち歩きツアーを開催しており、日本館についても紹介している。



写真-4 日本館

国語学校（写真-5）は1982年に登録され、さらに2006年には後述のシアトル市のHistoric Landmarkに登録されている。国語学校は、ゆくゆくは日本に帰るのだからそのためには子供たちに日本語及び日本の礼節を身につけさせることが重要である、という思想を基に1902年にビルのフロアを借りて始まった。日系人の寄付金によって1910年に校舎1棟目が建設され、さらにその後も生徒数の増加とともに増築された。設計施工に日本人が関わっており、その建築学的価値は高いと考える。強制収

容までの間には多くの日系人が参加する運動会が行われ、日系人コミュニティの形成に寄与した重要な機関だった。戦後においても、収容所から戻った日系人のHanto Hotelという一時滞在場所になり、その後は日系人会の事務所が置かれ日本語学校として日本語教育を再開させるなど、日系人コミュニティの立て直しの舞台になった。現在ではJapanese Cultural & Community Center of Washington (JCCCW) として日本語教育以外にも日系人のコミュニティセンターとして歴史を伝える企画展示やOmoide Plogram, 日系人の文化を体験できるイベントの開催などに取り組んでいる。このように建設時期、資金源において日本館と共通点が多いにもかかわらず現在の保全・活用実態に違いがみられた。そして、日系2・3世の日本帰還のための教育や、排日運動に対する教育表現の改定、出身県や職業を横断する日系人の社交の場だったという戦前の利用実態に加えて、終戦直後の日系人コミュニティ立て直しの場としての役割を果たした点、さらに現在においては日系人とその文化や歴史に関心のある人への情報発信などを行っている点から、長きにわたり日系人コミュニティの行方を先導する現場でありそれを今なお実際に見て感じるこのことのできるということの価値は言うまでもない。



写真-5 国語学校

一方、2006年に登録されたPanama Hotel (写真-6) は、1908年にオレゴン大学を卒業した日本人建築家Sabro Ozasaの設計によって1910年に建てられた。長年にわたり日系移住者やアラスカの漁師などの住まいとして利用され、強制収容時には収容所へ持って行くことのできない日系人の所有物のおきばになった。現在では、1980年代半ばからのオーナーが、残された日系人の所有物や日本風呂といったものの歴史的重要性を認識して保全活動を行っている。今なおホテルとして営業しており、一階部分は現存する日系人の所有物や写真を通してその歴史が垣間見える日本茶を扱うカフェになっている。建築物とともに日系人の歴史が付随する当時の実物や浴槽が現存し見物可能であるというのは、最もビジュアル的で日

系の文化を知らない人にとってもわかりやすい遺構であると考えられる。さらに、カフェやホテルといった業態ということから他の保全されている建築物より不特定多数の人が常時訪れることが可能な場所になっており、日系人の歴史や文化に触れやすいという面から重要な存在であると考えられる。また、日本人が設計した初期の洋風建築としても保全する価値がうかがえる。



写真-6 Panama Hotel

b)-1-2 Historic District

Seattle Department of Neighborhoodsによって8つのHistoric Districtが指定されている。この区域内においては建築物の外観や用途、公共空間等の変更を行う際はInternational Special Review District Boardの審査を受け承認されなければならない。

当地区は1973年に「International District」として登録されている。

b)-1-3 Historic Landmark

Historic Districtと同様であるが、Historic Landmarkの所有者とともに保護することを目的としており、不適切な変更を規制するとともに管理の支援を行う。前述の国語学校が指定されている。

また、1941年に建設されたSeattle Buddhist Churchも1976年に登録されており、戦前戦後を通して盆踊りを開催し、日系人が否かを問わず多くの人たちを引き付け、地区を賑わせている。現在、その氏子は白人が増加傾向にあるとのことであるが、宗教の教えを基に今なお生活に根差した文化を継承している。

b)-1-4 Business Improvement Area

Seattle市では、10か所のBusiness Improvement Areaを設けており、地区の美化と公共安全の向上、マーケティングとプロモーションの実施、ビジネスと経済の発展、公共空間の改善と計画の提唱について活動し、専門的にマネジメントして組織を発展させることに取り組んでいる。

当地区は1994年からそのうちの一つであるCIDBIAに指定されており様々なプログラムが組まれている。

2012年から掲げられている日本語表記の道路標識（写真-7）は、言語をビジュアル的に伝える方法として2011年に日系人と中国系の人々がSeattle市に提案したものを、史実に基づく言語の再現するためにCIDBIAの支援を受けてSeattle Department of Transportation (SDOT) が設置した。日本語表記で設置されている箇所は史実に照らすと旧日本人街全域ではないものの、かつての日本人街の中心部に一致し、その歴史を伝えている。



写真-7 日本語の道路名標識

b)-2 その他の活動からみた景観の特徴



写真-8 日本町横丁



写真-9 Chiyo' s Garden

アートの視点からのオブジェの設置や、日本を連想させるイラストとIDの地図でラッピングされた路上変圧器

の設置、Wing Luke Museumによる日本人街がにぎわっていたころの写真が印字された路上のベンチの整備がみられた。歴史案内板が設置された建築物ファサードもみられ、その設置主体は、Wing Luke Museumのみのものや、不動産所有者のみのもの、またはSeattle Chinatown International District Preservation and Development Authority (以下「SCIDpda」)とWing Luke Museumに加えてかつての日本人街を伝えることを目的に結成された商業組合Friends of Japantownの3者が協力して設置したものと様々だった。さらに、SCIDpda、Wing Luke Museum、Friends of Japantownの3者が歴史案内板の設置に際して2018年8月25日に日本町横丁（写真-8）を整備し、Friends of Japantown所属のKOB0 at Higoが所有するChiyo' s Garden（写真-9）と一体的にかつての日本人街の歴史を地域活性化に活用しようとしている。このような不動産所有者によって整備されたオープンスペースが他に2つと、公園の1つで日本を思わせる整備が行われている。

b)-3 現地調査でみられた景観の特徴



写真-10 日系スーパー宇和島屋



写真-11 ショーウィンドウに飾られた日系人の歴史行政施策によって保護を受けていないその他の建築物のファサードにおいては、日系スーパーマーケット（写真-10）やアパートにも日本を思わせるデザインが施されていた。室内の設えについても日本食料店の多く

が和風の設えを施しており、さらに雑貨店でも日本を思わせるインテリアが飾られていた。集積している店舗は戦前と同様に商店と飲食店が存在するものの、日本風呂屋は営業しておらず、一方で、戦前見られなかったカラオケ店やカラオケができる飲食店の存在が確認できた。ショーウィンドーには、戦前と同様に日本ゆかりの商品を飾っている店舗も見られたが、加えて日系人や建築物の歴史について当時の物品や日本にゆかりのあるものを説明パネルとともに展示していた(写真-1 1)。

5. 考察

以上を踏まえ、歴史的景観の保全活用意義についての考察を次に記す。

- 行政が保全している建築物の外観については、すべてが華美または特徴的とは限らず、そこで行われていた日系人の生活や活動といった日系人にとって歴史上重要な場所であり、そこに価値が置かれて保全されて歴史を伝える重要な場所になっていた。すなわち、行政からの保全活動は、建築物のデザインや技術の価値のみではなく、建築物の日系人コミュニティにおける歴史的重要性といった蓄積する歴史から評価されていた。
- かつての日本人街の建築物の外観においては目立った特徴がなかったのに対し、現在では主に商業施設において日本を建築物デザインによりどころにしているものがみられた。これらのことより、史実を忠実に再現するのではなく、日本人街だったという歴史を活用することが企業のマーケティングにつながっていると考える。
- ショーウィンドーにおいては、戦前は日系人向けの商品が陳列され日本人街を演出していたが、現在では商品として取り扱う日本からの輸入雑貨を陳列するといった取り扱う商品だけではなく、日本や日系人にゆかりを持つ品をディスプレイする商店もみられた。よって、日系人の歴史を伝えることが商店のマーケティングにつながっていると考えられる。
- 戦前の日本人街が日本ゆかりのサービスを受けることができる場所の集積から特徴付けられていたが、戦前ほどではないものの現在においても日本食の飲食店や和小物の雑貨店などが集積をみせており、日本語看板やショーウィンドーで日本を思わせる景観が形成されていた。これらのことより、保全されている日系人の歴史や文化が発信されることで、その歴史や文化に価値を感じた人が関連する事業や活動を行うことにより、かつての日本人街を思い起こさせる日本語看板といった景観要素の集積にまでつながっていると考えられる。
- 日系店舗が散在する現状に通り名を日本語表記で復元

することで、そこがかつて日系店舗が集積しにぎわっていた日本人街の中心部だったことを伝えることが可能であると考えられる。

- 不動産のファサードデザインや路上変圧器のラッピング、ベンチのデザインなどから、ビジュアル的によりわかりやすい保全・活用が多用されていた。それによって、史実から離れるだけでなく、景観の調和を乱すものもみられ、ビジュアル的なわかりやすさを重視しつつも景観の調和も考慮する必要が見受けられた。

6. まとめ

以上より当地区においては、戦前の日本人街ではそれほど景観的特徴は強いとは言えなかったが、かつての日系人コミュニティの活動を基に、現在は歴史的建築物の保全や公共空間の整備も行われ、日本人街の歴史や文化を保全して発信し活かす活動が重要視されていた。

よって、歴史的景観を保全・活用することはその対象が特徴を持たない場合であっても、それ自体が持つ歴史やその地区の歴史、文化をわかりやすく発信し伝えるという点で重要であり、さらにそのことは地区の魅力の集積を誘引することも期待できることを明らかにした。

謝辞：本研究をまとめるにあたり、ヒアリングにご協力いただきました日系人諸団体の皆様には多大なご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 松尾卓磨：「沸騰地域」へと変遷するエスニックインナーシティの実態，地理要旨集，2017
- 2) 陣天璽：長崎から横浜へ・横浜中華街の変貌：広東系老華僑から福建系新華僑へ，多文化社会研究，4，pp.193-216，2018
- 3) コミュニティ政策学会：アメリカのコミュニティ自治の経緯と解説，コミュニティ政策7，pp.38-51，東信堂，2009
- 4) 杉浦直：エスニック都市空間の再開発過程と建造環境の変容—シアトルの「インターナショナル地区」を事例として—，歴史地理学，2001
- 5) 杉浦直：シアトルにおける日系協会の変化・動向と移民社会，アルデス リベラレス（岩手大学人文社会科学部紀要），第78号，pp.73-88，2006
- 6) 杉浦直：シアトルのアジア人街「インターナショナル地区」のビジネス動向と地域的分化—1991-2003年—，季刊地理学，Vol.56，pp.90-105，2004
- 7) Gail Dubrow：Sento at Sixth and Main: Preserving Landmarks of Japanese American Heritage，Smithsonian Books，2004
- 8) Arisa Nakamura：Stories of Chinatown-International District from Multiple Cultural Backgrounds
- 9) 伊藤一男：北米百年桜，株式会社日貿出版社，p.929，1969